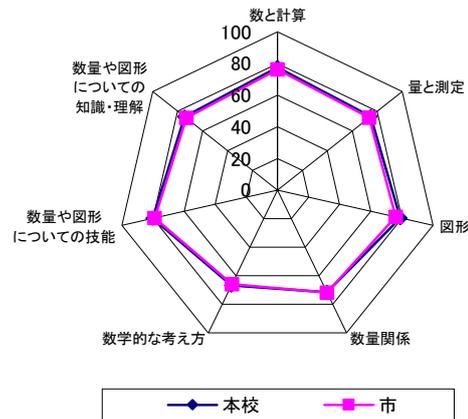


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	77.5	76.2	72.9
	量と測定	74.7	73.6	70.6
	図形	78.9	76.0	72.1
	数量関係	71.5	71.8	66.9
観点別	数学的な考え方	66.8	65.9	58.0
	数量や図形についての技能	80.2	78.9	76.2
	数量や図形についての知識・理解	74.5	73.1	70.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>●倍数の考え方を利用して問題の場面を記述で解答する問題では、正答率は37.0%であり、市の平均より33.1ポイント低く、無解答も11%と多い。</p> <p>○図を使って小数除法の文章問題のあった式を選ぶ問題の正答率は68.2%とあまり高くはないものの、市の平均より9.3ポイント高い。また文章問題を表した図を選ぶ問題では正答率が82.7%と高く、市の平均より3.9ポイント高い。</p>	<p>・小数や分数の計算は正確にできるようになっている。文章問題を図で表したり考えたりすることが定着しているため、そのことをさらに言葉で説明したり文章で書いたりする機会を増やすような学習形態を取り入れる工夫をしていく。</p>
量と測定	<p>●速さをもとにある道のりを移動する時間を求める式を選ぶ問題の正答率は74.8%であり、市の平均より4.1ポイント低い。</p> <p>○三角形・円の面積を求める式を選ぶ問題や平均を求める問題では、正答率が8割以上と高く、市の平均より2ポイント高い。</p>	<p>・面積を求める公式や平均の求め方などの学習内容は定着しているが、単位数あたりの大きさの学習についてはまだ定着していないので復習していきたい。一人あたりの大きさや1㎡あたりの人数と同じように、速さについても時間あたりに進む距離で理解できるよう復習し定着を図っていく。</p>
図形	<p>●正六角形の作図方法から正三角形と正六角形の一つの内角の大きさを求める問題の正答率は70.9%であり、市の平均より3ポイント低い。</p> <p>○3辺の長さを使って合同な三角形を作図する問題の正答率は98.6%と高く、市の平均より4.5ポイント高い。</p>	<p>・コンパスなどの用具を適切に使用し作図をすることは定着している。正多角形・合同・円周などの基本的内容は理解しているため、それら図形に関する複数の学習内容を組み合わせ活用して考えさせるような問題に取り組ませたい。</p>
数量関係	<p>●割合と比の問題で、調べた分量と作りたい分量の割合(比)を読み取り足りない材料の量を求める問題の正答率は26.8%と低く、市の平均より3ポイント低い。また帯グラフから割合を読み取り比較量を求める問題では、正答率は67.7%であり、市の平均より5.3ポイント低い。</p> <p>○比例の関係をxとyを使って式に表す問題では、正答率は88.2%で、市の平均とほぼ同じである。</p>	<p>・割合と比の問題については、生活の中で割合や比を使う場面を想起させるだけでなく、どんな時に活用できるのか理解できるようにし、もとにする量・比べられる量がどれになるのかを選択できるようにする。</p> <p>・他教科でも円グラフや帯グラフなどから割合を読み取り比較量を求める問題の触れさせ、定着を図るようにする。</p>